

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100302
法人名	医療法人佐藤循環器科内科
事業所名	グループホーム朝生田の里
所在地	愛媛県松山市朝生田町4丁目10-25
自己評価作成日	平成21年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者のほとんどが透析患者のため、食事・水分・運動制限のある生活をされている。好物の飲食の制限や週に3日透析治療を受けなければならないなど、日々の楽しみが奪われる中で、今年の利用者に楽しく生活して頂けるように、毎月の行事に併せて、日曜日の行事などのレクリエーションに力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

運営推進会議では、今年目標である「レクリエーション」への取り組みについて話し合わせ、出席者からいろいろなアイデアや提案をいただいている。例えば、地域の方から、新たにできた近所の公園のことを教えていただき、利用者と散歩に行かれるようになったり、又、出席者からの紹介でママさんコーラスの方々が来てくださるようになった。
入居の際には、生活歴等、ご家族にもお聞きし、又、日々、利用者が発する言葉や行動を記録に残して、思いの把握に努めておられる。事業所では、「思いの把握は、ゴールがあるものではなく、絶えず把握していくものだ」との考えのもと、利用者個々の希望や意向を探り続けていきたいと話しておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 仙波 美江

評価完了日 平成21年 7月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「開かれたホームを目指し、地域の方とともに生活する」という理念を掲げ、地域との交流を増やせるように、職員一同取り組んでいる。	
			(外部評価) 「尊厳の保持 自立支援 地域との密着」という理念をもとに、地域の方達と交流する機会を作り、認知症の理解をすすめる等、事業所の専門性を活かして情報発信していきたいと考えておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 運営推進会議や夏祭りに、地域の方に参加頂いたりしている。また地域で開催される夏祭りや体育祭に利用者、職員共に参加している。回覧板が廻ってくるようになり、地域の情報も入るようになった。	
			(外部評価) 回覧板を利用者と一緒に回したり、回覧板から地域の行事等の情報を得て、利用者とともに地区の運動会や施設の文化祭に参加されている。又、回覧板で事業所の夏祭り行事の案内をされ、多くの地域の方の参加をいただいた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で、グループホームについての説明をスクリーンを用いたり、個別の相談にのったりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>2ヶ月に1度開催されている運営推進会議で、グルー プホームの今年の目標であるレクレーションについて 報告した。また会議でボランティアの受け入れについ ての提案を頂き、実践として取り入れた。</p>	
			(外部評価)		
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>運営推進会議やサービス担当者会議、研修などで関わり を持っている。</p>	
			(外部評価)		
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>施設内にマニュアルを設置し、職員には何が身体拘束 になるのか現場で教育している。身体レベルの低下に より座位保持が不可能な方に対してはベルト着用をし ているが、ミーティングで改善できないか検討してい る。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティング時に意見や提案を聞く機会を設けている。また個々にもコミュニケーションを取り、意見を聞くように心がけている。	
			(外部評価)	
			ケアや業務について職員ミーティングで話し合い、取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			年末に研修等への報告書を提出したり、勤務状況・態度を評価し査定するシステムとなっており、賞与や翌年の給与に差異が出るので、職員も向上心を持って働ける職場であると思う。	
13		職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修の案内等を知らせたり、個々に適正な研修を勧めたりしている。また研修受講者の勤務希望を優先している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			石井地区周辺のグループホームの会合が始まったので、今後は研修以外にも関わりの場が増えると思われる。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			本人の話をよく聴き、話しやすい環境・関係作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>家族が意見を言いやすいような雰囲気を作るようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>入居後の介護で、個別に訪問マッサージが必要と判断したら、勧めたりしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>洗濯物たたみ、お盆、お椀拭き、調理の手伝いなど、出来る事は手伝って頂いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>病院の受診やメンタルケアなど、家族に協力を頂いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>居室に電話があり、いつでも掛けれるようになっている。また近隣の友人に会いに行ったりしている。</p>	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	職員が間に入り、利用者間でもコミュニケーションがとれるようにしている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	同グループの有料老人ホームへ移った方とは、散歩がてら会いに行ったり、イベント参加の声掛けをして交流を続けている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	日常の様子や会話の中から希望や意向の変化を把握できるよう努めているが、充分とは言えない。
			(外部評価)	
			入居の際には、生活歴等、ご家族にもお聞きし、又、日々、利用者が発する言葉や行動を記録に残して、思いの把握に努めておられる。事業所では「思いの把握は、ゴールがあるものではなく、絶えず把握していくものだ」との考えのもと、利用者個々の希望や意向を探り続けていきたいと話しておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	アセスメントシート、センター方式を使用し、生活歴等の把握に努めている。また家族の面会時にコミュニケーションを取り、情報収集に努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	職員間で話し合ったり、日々の記録にも残し、情報を共有し、把握に努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族に希望を聞き、それを基に実現のために何ができるかを職員間で話し合い、介護計画の作成を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人の思いやご家族の意見を聞き、持病についての医療機関のアドバイスも踏まえ、担当職員を中心に、全職員で話し合い、介護計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子をケース記録やパソコンの日誌に記入している。また気づきに関しては、連絡ノートを活用し、情報を共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族のその時々状況に応じて相談に乗り、施設として取り組めるまでは出来る限り対応していくつもりです。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>近くのスーパーや公園などを利用し、運動を兼ねて出向いたりしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			母体病院と連携し、適切な医療を受けられるようにし ている。	
			(外部評価)	
			皮膚科や眼科等のかかりつけ医への受診は、ご家族が 支援されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			日々の介護で気づいた事は、職場内の看護師だけでは なく、母体病院の医師や看護師にも伝えるようにして いる。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			母体病院に入院した際は、ほとんど毎日のように経過 を直接聞いて、情報交換しています。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			利用者・家族が希望するならば看取りまでさせていた だく方針は従前通りである。	
			(外部評価)	
			入居時に、重度化した場合や看取り時の支援につい て、ご家族の希望を聞き取っておられる。事業所 では、看取りの指針を作成し、看取り支援について協力 医、看護師と勉強会をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			以前にも研修は行いましたが、今後も、母体病院の看護師にて行う予定である。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			年2回利用者にも参加してもらい、避難訓練を行っている。また、運営推進会議などで、地域の方に協力頂ける旨、了解を頂いている。	
			(外部評価)	
			地域の方からの要望があり、事業所の駐車場は、地域の避難場所になっている。2階ユニットは介護度軽度の方を優先されており、普段から階段で上がり降りされている。	今後、事業所所在地域に在住する、法人内の職員や地域の方達にも声かけし、夜間を想定した避難訓練を行う予定となっていた。利用者、職員の安全と安心のためにも、いろいろな場面を想定した避難訓練を重ねていかれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			個々の人格や性格を尊重し、尊敬の念を持ち、言葉掛けや対応に注意を払っている。	
			(外部評価)	
			食事や水分摂取制限のある利用者について、病状によってはご本人の訴えに応えられない場合もあるが、職員は、利用者への言葉のかけ方にも気を付けて対応されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			日頃からコミュニケーションを取り、話しやすい関係作りに努めている。その上で、本人が自己決定できるような環境作りに努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々のペースに合わせ、出来る限りその人らしい暮らしが継続できるよう支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 衣類を決める時は、利用者と行ったり、月に1度ある買い物日に衣類を購入したりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日曜日の夕食は利用者の好みも取り入れている。また野菜切りや味付けをしてもらい、食事への興味や楽しみにして頂けるよう努めている。	
			(外部評価) 朝食と日曜日の夕食は事業所で食事を作っておられるが、その他の日は、隣接の母体病院で作った腎臓病食が届くようになっている。利用者は、主菜の肉・魚が選べるようになっている。日曜日には、食べたいものを聞いて利用者と共に調理されている。	利用者ができるだけご自分で食事ができるよう、食器や自助具で工夫されてみてはどうだろうか。利用者個々が「食事を楽しむ」ための支援について、職員のかかり方等についても工夫できることがないか、この機会に話し合ってみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 母体病院の管理栄養士が食事に関して管理している。また栄養状態の悪い方に関しては、個々に栄養補助食品で不足分を補うようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声掛け、介助を行っている。また歯科往診時には、口腔ケアの指導をもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄サイクルチェックシートを活用し、排泄パターンを把握し、トイレの誘導を行っている。個々のADLに合った排泄介助ができるように支援している。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	水分、運動制限のある透析患者の利用者に対して、できることは限られるが、ホットパックでお腹を温めたりと下剤に頼らない方法も試みている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	透析日は入浴できないが、それ以外の日で週に3回は入浴できるようにしており、利用者の体調や気分等を考慮し、なるべく希望に添えるように支援している。また準夜勤導入により、入浴可能な時間も増えた。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	個々の生活リズムや体調に合わせ、休息してもらっているが、昼間寝たままにならないように、作業をして頂いたり、コミュニケーションを取ったりと夜に安眠して頂けるよう努めている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 透析されているため、服用している薬の数も多いが、薬の用法等について、薬局より情報シートをもらい、確認している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) センター方式や日々のコミュニケーションから一人ひとりの生活歴や思いや願いを知るよう努め、それに即した支援ができるようにしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 買い物の希望があれば、近くのストアと一緒に出かけ、必要な物を購入している。また利用者にとどこに行きたいか希望を聞き、希望に添えるように行事企画をしたりしている。	さらに利用者個々の懐かしい場所や人を探り、出かけてみるような支援を事業所でも取り組まれてはどうか。
			(外部評価) 午前・午後に散歩に出かけておられる。夕食後に散歩に出かけることもある。毎月の行事について、利用者の希望を聞くと「お寿司を食べに行きたい」との希望が多く、回転寿司へ外出に出かけている。又、大人数で出かけるのを嫌う方には、個別で散歩や買い物に出かけるようにされている。利用者からは「足湯に行きたい」との希望も出ており計画中であった。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭を自己管理している人もいる。外出時は自分で支払いをしてもらうよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 居室に電話があり、いつでも使用できるようになっている。自分で電話が掛けられない利用者には、希望時に職員が代わりに掛け、話せるようにしている。また、手紙については家族宛ての郵便物がある時などに併せて、手紙を書いて頂いたりもしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節感のある飾りつけや花などを居間には置きますが、廊下などにはなるべく物を置かないようにしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下には、利用者が車椅子での移動がしやすいようにと、物を置かないようにされている。調査訪問時、レクレーションで行った黒髭ゲームの対戦結果を張っていた。又、利用者のお好きな握り寿司の飾り付けをされたり、手作りカレンダーには、今日の日付が分かるようにマークが付けられており、それを見て今日の日付を確認される利用者も見られた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用空間で独りになれる空間はないが、中庭のベンチに出て、過ごしたりもしている。リビングで気の合ったもの同士が横に座れるように座席の配置を考えている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自宅で使われていた時計や写真を貼り、利用者が居心地良く過ごせるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自分で居室の掃除をされる方もある。写経をされたり、本を読んで過ごされる方もある。又、何度も聞かれる方には、治療の曜日が分かるように貼っておられた。自室の電話機を使って、ご自分で電話できるよう、自宅の電話番号を貼っている方もあった。又、外からかかってきた電話も居室に回せるようになっている。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>段差もないため、車椅子走行の方も自走され、自ら移動されている。廊下などになるべく不要な物を置かないように安全にまた自立した生活が送れるように支援している。</p>	